

【別添】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：福岡県ウエイトリフティング協会]

[記載日：令和7年4月5日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
<b>原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 法人格はないが、適切な団体及び事業運営を行なっている。	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 各種大会開催、研修会を開催して実体を備えている。また、理事会、役員会を開き規約に沿った運営に取り組んでいる。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 法令を遵守して運営している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 監事及び事務局長の監査を実施するとともに県スポーツ協会による公認会計士実地検査を受験している。	

<b>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b>	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。 A  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) より明確な基本方針を策定し、ウェブサイトによる情報発信の頻度を高め、ICTを積極的に活用して、SNSでも情報発信を行い広く本協会について公表していくべきである。	
<b>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b>	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。 A  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 年に数回実施しているとともに、積極的に研修にも参加している。また、全国規模の大会での監督会議や役員審判会議においても常にコンプライアンス教育が徹底的に行われており、本協会内でも共有して意識を高めている。 来年度よりレギュレーションの策定にも積極的に取り組む。	
<b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。 A  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 監事及び事務局長、役員の複数の監視において適切にかつ公正に処理を行い、理事会において監事の監査を公表している。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。 A  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 遵守している。	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。 A  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 会計処理は監事、事務局によって公正かつ適切に行われている。加えて、本年度より実施された公認会計士による実施検査にも応じて不備があれば全て対処している。
<b>原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b>
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。 A  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 適切に行なっている。開示請求に応じることができる体制を整えている。
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。 A  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 大会情報、大会結果、選手情報、選手選考に関する規定等をICTを活用して開示している。
<b>原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード&lt;NF 向け&gt;の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</b>
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)
原則■について  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)
原則■について  (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)